

平成24年3月期 第1四半期連結決算概要

1. 連結の範囲

項目	平23年3月期	平23年6月期	対前期増減
連結子会社数	66社	66社	0社
持分法適用会社数	24社	24社	0社
合計	90社	90社	0社

2. 業績概要

(1) 経営成績

(単位: 億円)

注: 億円未満切捨て

項目	前年第1四半期 (H22. 4~H22. 6)	当第1四半期 (H23. 4~H23. 6)	増減
売上高	1,399	1,494	94
営業利益	43	87	43
金融収支	△7	△6	0
持分法投資損益	3	4	1
その他営業外損益	△9	△1	7
経常利益	30	83	52
特別損益	△4	△2	2
四半期純利益	17	50	32

1株当たり四半期純利益	1円71銭	4円98銭	3円27銭
-------------	-------	-------	-------

為替レート(円/\$)	92.0	81.7	△10.3
ナフサ価格(円/KL)	49,700	59,000	9,300
豪州炭価格(円/t)*	11,472	11,732	260

*豪州炭(CIF)

[セグメント別 売上高・営業利益]

(単位: 億円)

項目	セグメント	前年第1四半期 (H22. 4~H22. 6)	当第1四半期 (H23. 4~H23. 6)	増減
売上高	化成品・樹脂	436	534	98
	機能品・ファイン	167	159	△7
	医薬	19	17	△2
	建設資材	470	498	27
	機械・金属成形	199	156	△43
	エネルギー・環境	117	135	17
	その他	62	66	3
	調整額	△74	△73	0
	合計	1,399	1,494	94
営業利益	化成品・樹脂	7	60	53
	機能品・ファイン	16	14	△2
	医薬	5	0	△4
	建設資材	10	12	1
	機械・金属成形	1	0	△1
	エネルギー・環境	1	3	1
	その他	1	1	0
	調整額	△1	△6	△4
	合計	43	87	43

カプロラクタム 販売価格上昇 他

販売価格低下 他

販売数量減 他

セメント・生コン 販売数量増 他

アルミホイール事業撤退、産機出荷減 他

販売炭価格上昇・数量増 他

カプロラクタムスプレッド(製品と原料の値差)拡大 他

販売価格低下 他

販売数量減 他

研究開発費増 他

(2) 財政状態

(単位:億円)

項目	前期末 (H23. 3末)	当第1四半期 (H23. 6末)	増減
総資産	6,615	6,675	60
有利子負債 (純有利子負債)	2,605 (2,110)	2,559 (2,117)	△ 45 (6)
自己資本	1,870	1,893	23

(3) キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

項目	当第1四半期 (H23. 4~H23. 6)	
営業活動CF	138	税引前四半期純利益 81、減価償却費 78 運転資金 △23 他
投資活動CF	△ 93	有・無形固定資産の取得 △93 他
財務活動CF	△ 104	有利子負債増減△48、配当金支払△54 他

前第1四半期 (H22. 4~H22. 6)
167
△ 59
△ 53

3. 通期業績予想

平成23年5月11日に発表した業績予想に変更はありません。

(単位:億円)

	平23年3月期	平24年3月期	増減
売上高	6,160	6,500	340
営業利益	443	440	△ 3
経常利益	391	380	△ 11
特別損益	△ 103	△ 30	73
当期純利益	172	200	28

4. 配当予想

	平23年3月期	平24年3月期
年間配当金	5.0円	5.0円

〔参考〕連結主要指標

(単位:億円、倍、%)

項目	前年通期 (H22. 4~H23. 3)	当第1四半期 (H23. 4~H23. 6)	当通期予想 (H23. 4~H24. 3)
設備投資	353	101	430
減価償却費	331	78	335
研究開発費	137	32	145
事業利益	470	96	460
有利子負債残高	2,605	2,559	2,520
純有利子負債残高	2,110	2,117	2,180
自己資本	1,870	1,893	1,960
総資産	6,615	6,675	6,850
ネットD/Eレシオ(倍)	1.1	1.1	1.1
自己資本比率(%)	28.3	28.4	28.6
売上高営業利益率(%)	7.2	5.8	6.8
総資産事業利益率(%)	7.2	-	6.8
自己資本利益率(%)	9.4	-	10.4
従業員数(人)	11,026	11,237	11,380



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月1日
上場取引所 東・福

上場会社名 宇部興産株式会社
コード番号 4208 URL <http://www.ube.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹下 道夫
問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 坂本 靖子 (TEL) 03-5419-6110
四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	149,405	6.7	8,730	99.8	8,346	173.5	5,009	192.1
23年3月期第1四半期	139,985	16.5	4,369	—	3,051	—	1,715	—

（注）包括利益 24年3月期第1四半期 7,625百万円（323.8%） 23年3月期第1四半期 1,799百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.98	4.98
23年3月期第1四半期	1.71	1.70

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	667,563	213,629	28.4
23年3月期	661,512	211,449	28.3

（参考）自己資本 24年3月期第1四半期 189,372百万円 23年3月期 187,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期（予想）	—	0.00	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	308,000	4.5	17,000	1.6	13,500	△1.6	7,500	△1.4	7.46
通期	650,000	5.5	44,000	△0.8	38,000	△2.8	20,000	15.8	19.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	1,009,165,006株	23年3月期	1,009,165,006株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	3,830,105株	23年3月期	3,824,295株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	1,005,337,198株	23年3月期1Q	1,005,350,933株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※ 当社は、以下のとおりネットコンファレンスを開催する予定です。当日の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年8月1日（月）・・・・アナリスト、機関投資家向けネットコンファレンス

【添付資料の目次】

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の経済情勢は、アジアでは中国をはじめとして景気拡大が継続しましたが、物価上昇圧力と金融引き締め策の影響などによりその勢いはやや鈍化しており、また欧米でも総じて景気は持ち直しつつありますが、失業率が高止まり一部では金融不安が煽るなど、世界経済は全体としては緩やかな回復が続きながらも景気の下振れ懸念が拭えず、不透明な環境が続いています。

一方国内経済は、東日本大震災の影響により一時的に生産が落ち込み、原発事故の影響による電力供給不安も抱えるなど、依然として厳しい状況は続きながらも、個々の企業努力によるサプライチェーンの立て直しが進み、景気もここにきて上向きの動きが見えております。

このような状況の下、当社グループは2010年度から2012年度の三カ年の中期経営計画「ステージアップ2012 一新たなる挑戦」の基本方針に基づき、その二年目として目標の早期達成に向け更なる業績の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの連結売上高は前年同期に比べ94億2千万円増の1,494億5百万円、連結営業利益は43億6千1百万円増の87億3千万円、連結経常利益は52億9千5百万円増の83億4千6百万円、連結四半期純利益は32億9千4百万円増の50億9百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益
当第1四半期	1,494億円	87億円	83億円	50億円
前年同期	1,399億円	43億円	30億円	17億円
増減率	6.7%	99.8%	173.5%	192.1%

なお、当社グループの第1四半期は、化成品・樹脂及び機能品・ファイン製品の製造工場の定期修理が第1四半期に集中すること、建設資材セグメントの主力製品であるセメントの需要が下期に偏ること、機械製品の売上計上が年度末に集中することなどの季節要因による影響を受け、他の四半期に比べ低水準となる傾向があります。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

化成品・樹脂セグメント

アジア市場の旺盛な需要に支えられ、ナイロン原料のカプロラクタムの販売は好調で、スプレッド（製品と原料の値差）も前年同期に比べ大幅に拡大しました。ポリブタジエン（合成ゴム）、ナイロン樹脂は、原料調達や自動車向け需要などの面で東日本大震災の影響を受けましたが、販売は堅調でした。工業薬品は、石炭火力発電向けなどでアンモニアの販売が好調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ98億3千2百万円増の534億6千7百万円、連結営業利益は53億3千3百万円増の60億7千5百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第1四半期	534億円	60億円
前年同期	436億円	7億円
増減率	22.5%	718.7%

機能品・ファインセグメント

リチウムイオン電池用電解液・セパレーター、LED向け高純度化学薬品の販売は好調で、セラミックスも太陽電池生産部材向けを中心に需要が旺盛でしたが、一部製品で価格低下が進みました。ファインケミカル製品、薄型テレビ向けフィルムを中心とするポリイミド製品は、東日本大震災によるサプライチェーンへの影響を受け、またガス分離膜の販売は低調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ7億6千6百万円減の159億3千7百万円、連結営業利益は2億4千万円減の14億2千6百万円となりました。

項目	連結売上高	連結営業利益
当第1四半期	159億円	14億円
前年同期	167億円	16億円
増減率	△4.6%	△14.4%

医薬セグメント

自社医薬品の抗アレルギー剤を中心として、原体・中間体の出荷は概ね順調でしたが、当期はもともと出荷計画が期の後半に集中していることもあり、販売は前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ2億1千1百万円減の17億8千7百万円、連結営業利益は4億7千5百万円減の9千2百万円となりました。

項 目	連結売上高	連結営業利益
当第1四半期	17億円	0億円
前年同期	19億円	5億円
増減率	△10.6%	△83.8%

建設資材セグメント

セメント・生コン、建材製品の販売は、マンション・住宅着工や企業の設備投資の持ち直しにより下げ止まってきたものの、低水準で推移しました。しかしながら、旺盛な海外需要を受け輸出数量を増加させたことにより、セメント製造設備はフル稼働を維持し、各種廃棄物の原燃料へのリサイクル利用も拡大しました。カルシア・マグネシア製品の販売は、概ね堅調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ27億5千万円増の498億3千3百万円、連結営業利益は1億5千4百万円増の12億2千9百万円となりました。

項 目	連結売上高	連結営業利益
当第1四半期	498億円	12億円
前年同期	470億円	10億円
増減率	5.8%	14.3%

機械・金属成形セグメント

自動車産業向けを中心とする成形機の出荷は低水準であったものの、受注は増加いたしました。また、堅型ミルや運搬機等の産業機械の出荷は減少し、受注も円高や国内外メーカーとの価格競争の激化等により厳しい状況が続きました。製鋼品の出荷は堅調でしたが、材料スクラップ価格高騰の影響を受けました。

この結果、当セグメントの連結売上高は、本年3月に決定したアルミホイール事業からの撤退の影響もあり、前年同期に比べ43億1千9百万円減の156億円、連結営業利益は1億5千2百万円減の4千万円となりました。

項 目	連結売上高	連結営業利益
当第1四半期	156億円	0億円
前年同期	199億円	1億円
増減率	△21.7%	△79.2%

エネルギー・環境セグメント

石炭の販売は主要顧客である化学・繊維会社向けを中心に増加しました。預り炭についても電力会社向けは好調で、コールセンター（貯炭場）の取扱い数量も堅調でした。一方、電力卸供給事業は定修に伴う補修費の増加により、採算が悪化しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ17億5千5百万円増の135億3千6百万円、連結営業利益は1億7千3百万円増の3億2百万円となりました。

項 目	連結売上高	連結営業利益
当第1四半期	135億円	3億円
前年同期	117億円	1億円
増減率	14.9%	134.1%

その他のセグメント

その他の連結売上高は、前年同期に比べ3億3千5百万円増の6億2千8百万円、連結営業利益は9百万円減の1億8千6百万円となりました。

項 目	連結売上高	連結営業利益
当第1四半期	6.6億円	1億円
前 年 同 期	6.2億円	1億円
増 減 率	5.3%	△4.6%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は前年度末に比べ、現金及び預金が5億3千8百万円減少、また受取手形及び売掛金が5億7千5百万円減少しましたが、商品及び製品などのたな卸資産が1億4千5百万円増加したことなどにより流動資産が2億2千6百万円増加し、有形固定資産が3億8百万円増加したことなどにより固定資産が3億8千9百万円増加した結果、6億5千1百万円増加し、6億7千5百万円となりました。

負債については、有利子負債が4億9千3百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が4億9千2百万円増加し、また賞与引当金が3億4千3百万円増加したことなどにより、3億8千7百万円増加し、4億5千3百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当により利益剰余金が5億3千5百万円減少しましたが、四半期純利益により利益剰余金が5億9百万円増加し、また為替換算調整勘定が2億4千2百万円改善したことなどにより、2億8千8百万円増加し、2億1千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月11日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,711	44,393
受取手形及び売掛金	134,914	129,159
商品及び製品	30,093	38,945
仕掛品	16,808	19,540
原材料及び貯蔵品	26,346	29,293
その他	24,207	22,942
貸倒引当金	△378	△345
流動資産合計	281,701	283,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	86,750	85,893
機械装置及び運搬具（純額）	118,098	116,605
土地	82,604	82,685
その他（純額）	26,493	31,770
有形固定資産合計	313,945	316,953
無形固定資産		
その他	4,988	5,054
無形固定資産合計	4,988	5,054
投資その他の資産		
投資有価証券	33,684	33,849
その他	29,308	29,850
貸倒引当金	△2,132	△2,084
投資その他の資産合計	60,860	61,615
固定資産合計	379,793	383,622
繰延資産	18	14
資産合計	661,512	667,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,135	94,067
短期借入金	96,859	93,735
コマーシャル・ペーパー	3,000	3,000
1年内償還予定の社債	40	15,020
未払法人税等	5,405	4,451
賞与引当金	7,435	10,848
その他の引当金	1,091	916
その他	46,736	48,889
流動負債合計	249,701	270,926
固定負債		
社債	15,100	100
長期借入金	144,082	142,710
退職給付引当金	7,026	6,818
その他の引当金	6,128	5,751
負ののれん	2,232	2,186
資産除去債務	1,121	1,129
その他	24,673	24,314
固定負債合計	200,362	183,008
負債合計	450,063	453,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,451	28,451
利益剰余金	114,817	114,791
自己株式	△783	△785
株主資本合計	200,920	200,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,152	1,072
繰延ヘッジ損益	△161	△177
為替換算調整勘定	△14,897	△12,415
その他の包括利益累計額合計	△13,906	△11,520
新株予約権	387	393
少数株主持分	24,048	23,864
純資産合計	211,449	213,629
負債純資産合計	661,512	667,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	139,985	149,405
売上原価	116,935	121,491
売上総利益	23,050	27,914
販売費及び一般管理費	18,681	19,184
営業利益	4,369	8,730
営業外収益		
受取利息	109	160
受取配当金	495	296
受取賃貸料	592	334
負ののれん償却額	37	37
持分法による投資利益	319	433
その他	665	895
営業外収益合計	2,217	2,155
営業外費用		
支払利息	1,307	1,123
賃貸費用	577	300
為替差損	505	140
その他	1,146	976
営業外費用合計	3,535	2,539
経常利益	3,051	8,346
特別利益		
固定資産売却益	102	4
持分変動利益	421	—
貸倒引当金戻入額	49	—
特別利益合計	572	4
特別損失		
固定資産処分損	106	200
投資有価証券評価損	7	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	900	—
特別損失合計	1,013	218
税金等調整前四半期純利益	2,610	8,132
法人税等	1,166	2,976
少数株主損益調整前四半期純利益	1,444	5,156
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△271	147
四半期純利益	1,715	5,009

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,444	5,156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△449	△83
繰延ヘッジ損益	19	△15
為替換算調整勘定	765	2,513
持分法適用会社に対する持分相当額	20	54
その他の包括利益合計	355	2,469
四半期包括利益	1,799	7,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,107	7,395
少数株主に係る四半期包括利益	△308	230

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,610	8,132
減価償却費	8,181	7,842
負ののれん償却額	△37	△37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△27	△85
受取利息及び受取配当金	△604	△456
支払利息	1,307	1,123
為替差損益 (△は益)	62	29
持分法による投資損益 (△は益)	△319	△433
固定資産売却損益 (△は益)	△107	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	3,916	6,639
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,160	△13,239
仕入債務の増減額 (△は減少)	10,024	4,273
その他	5,413	3,690
小計	20,259	17,474
利息及び配当金の受取額	848	695
利息の支払額	△757	△600
法人税等の支払額	△3,586	△3,702
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,764	13,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,590	△9,389
有形固定資産の売却による収入	670	51
投資有価証券の取得による支出	△12	△14
投資有価証券の売却による収入	—	40
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△38	△57
その他	△20	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,990	△9,348
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,345	△2,761
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	4,000	0
長期借入れによる収入	600	1,054
長期借入金の返済による支出	△3,598	△3,100
社債の償還による支出	△520	△20
配当金の支払額	△4,030	△5,037
少数株主への配当金の支払額	△312	△414
その他	△119	△197
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,324	△10,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	670
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,483	△5,286
現金及び現金同等物の期首残高	37,281	49,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,764	44,236

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギ ー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	40,734	15,875	1,998	46,139	19,582	9,860	5,797	139,985	—	139,985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,901	828	—	944	337	1,921	496	7,427	△7,427	—
計	43,635	16,703	1,998	47,083	19,919	11,781	6,293	147,412	△7,427	139,985
セグメント利益 (営業利益)	742	1,666	567	1,075	192	129	195	4,566	△197	4,369

(注1) セグメント利益の調整額△197百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△214百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化成品・ 樹脂	機能品・ ファイン	医薬	建設資材	機械・ 金属成形	エネルギ ー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	50,290	15,127	1,787	48,951	15,020	12,095	6,135	149,405	—	149,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,177	810	—	882	580	1,441	493	7,383	△7,383	—
計	53,467	15,937	1,787	49,833	15,600	13,536	6,628	156,788	△7,383	149,405
セグメント利益 (営業利益)	6,075	1,426	92	1,229	40	302	186	9,350	△620	8,730

(注1) セグメント利益の調整額△620百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△629百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。